



小沢良一 tel 992-0875 fax993-8141 深良27-2



岡本和枝 tell/fax 992-5174 茶畑 854-3 E101

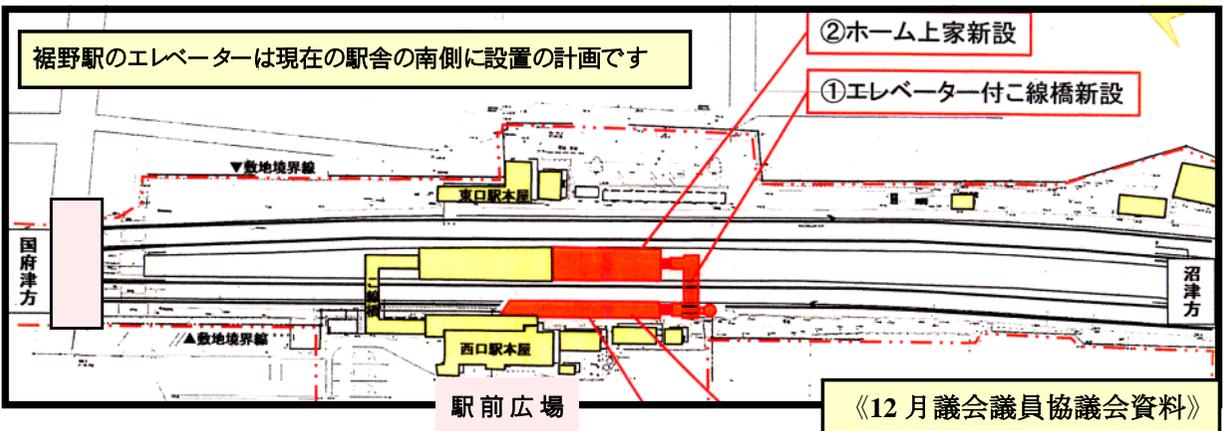
http:www16.plala.or.jp/ozawa_ryouiti

peace_love_cabird@yahoo.co.jp

党ができて91年間、弱い者、困っている人の味方一直線の共産党。

困ったことは小沢、岡本のなんでも相談へ

12月市議会 一般質問から



裾野駅にエレベーター設置されます！」岡本和枝の一般質問から 待ち望んでいた!!

裾野駅にエレベーターが設置されます!!

設計期間(予定)は、平成26年度～28年度(3カ年)の予定で、H26年度は詳細設計、H27～28年度に工事が行われます。駅舎の南側にエレベーター(2基)付きの跨線橋が新設されます(上図参照)。

総事業費(予定)は約2億8,300万円。国、県、裾野市の補助金、負担金でまかなわれます。耐用年数は20年。

自由通路・橋上駅 やめよう無駄遣い

このエレベーター設置でバリアフリー化ができる裾野駅。でもみなさん、この

上に30億円もかかる「東西自由通路・橋上駅」は必要でしょうか？

三島駅でも同様の「南北自由通路」計画がありましたが、費用便益比が「0.57」しかないとして整備効果に疑問の意見が相次ぎ「再検討」となっています。現状の三島駅の南北間の行き来は何百メートルも回らなければならず、裾野駅の駅北側75mに踏切がある利便性の良さとは雲泥の「遠回り」が要求される条件ですが、それでも費用便益比はたったの0.57です。裾野駅の東西自由通路・橋上駅の費用便益比は出されていません。

整備効果のない自由通路 橋上駅構想のためバリアフリー化が遅れた

この裾野駅のバリアフリー化はもっと前に実現できたのですが、計画が遅れたのは裾野市が区画整理事業に合わせて現在の跨線橋をイメージ図のような自由通路・橋上駅化(エレベーター設置)を行うとしたところにあります。



■自由通路のイメージ

区画整理事業の遅れと 30 億円もの裾野市負担となる自由通路・橋上駅計画に、「今やらなければならない計画か？」の疑問や反対の声があり、計画は先延ばしにせざるを得ませんでした。

しかし、バリアフリー化のためのエレベーター設置は必要性が緊急であり、先行して行われることになりました。「区画整理と一緒に」という裾野市の言い分のために何年もバリアフリー化が遅れることとなったわけです。



■駅前広場・駅前拠点施設(立体換地ビル)のイメージ

区画整理事業では上図の駅前立体換地ビル計画も頓挫、消失しました。私たち

日本共産党裾野市議団は、ずっと以前より「裾野駅にはエレベーター設置を。裾野駅の東西自由通路・橋上駅化は、すぐ上に裾野踏切があるので不必要」と訴えてきました。

12 月議会でも、裾野駅バリアフリー化という当初の目的は達成できたので、自由通路・橋上駅計画はきっぱり廃止すべきと質問しました。建設部長の答弁は、「確かに中心市街地活性化基本計画の通りには進んでいないが、バリアフリー化ができたからと言って東西自由通路・橋上駅化が不要になったということではない」と強弁しました。(岡本和枝)

(今回の岡本和枝の一般質問はこの件だけ掲載しました。イメージ図は平成11年3月に出された裾野市中心市街地計画より抜粋)

小澤議員の一般質問

狭あい道路(幅 2.9 m)にアパート建築で車が増加 すれ違いもできなく危ないのに交通対策を行政が放置 道路拡幅対策を

北はスーパーエッグマート店前の道路、南は大山通り(ベルシティ北側)そして東は赤十字病院東の河川、西は裾野高等学校の正門の道路(大橋医院の東側道路)のこの地域は狭あい道路に面して住宅が建設されている地域で、交互通行ができにくい所です。そこへアパートが3棟も建設され車両が増加、昔から住んでいる住民の方々は「譲りあいをして交通問題をやりくりしていた」が新住民の方にはそのようなことは頓着なく強引に通行してくる状況が生じている。



この地域の狭い道路故の交通安全問題を相談された共産党議員団としては、小澤良一議員が市議会でも取り上げることにしました。

以前からこの地域の道路問題は市議会でも取り上げられてきましたが、車が交差通行できる道路は実現していません。具体的には県立裾野高等学校の南側に道路ができることが交通問題を解決する手段であるが、なぜ進展しないのか。

小澤議員は高校南側の現状（水路・学校敷地・道路敷地）を説明して私有地が公の敷地に食い込んできているのではないかと質問しました。当局は平成 23 年に道路計画を作成、地権者に立ち合いをお願いして協力を得るべくやってきたが地権者の立ち合いがえられていないので進展していないとの答弁でした。

小澤議員は、市顧問弁護士に相談して早急に道路拡幅を実現するように要求しました。地域住民のみなさん、実現のために共に頑張っていきましょう。

市は、市民運動公園の大型ローラー滑り台を撤去方針、小沢議員は強く批判

市民運動公園の大型ローラー滑り台は、市内外の利用者に大人気ですが、ローラー部分の破損で多額の費用が掛かると利用を中止していました。小澤議員は修理して使える様にすべきと議会質問で要求してきましたが、市関係部署で検討した結果、ローラー滑り台は撤去して、「普通の滑り台」に替える方針と答弁。小澤議員は市内の企業に相談してローラー滑り台を修理して使える様に「すべき」と強く要求しました。行政の今後の動きを注視していきます。

季節風物詩

冬に備えて落葉樹は葉っぱを落とします。川に流れ込み堰に詰まり水の流れを阻害。そのため川が干上がり小魚などの生き物の生命を絶つことに。



これも自然界のできごととするのか。人が注意していれば問題は起こらないことなのに。 (良)

大企業だけ消えた復興特別 税 国民は25年間負担継続

東日本大震災から2年9ヶ月が過ぎました。復旧・復興のための財源は、「今を生きる世代全体で連帯し、負担を分かち合う」(2011年9月13日、当時の野田佳彦首相の所信表明)と言う考えからできた復興財源確保法です。

その当時の経団連もオールジャパンで復興を支えると提言し、2012年度から増税の伴う経済対策に復興特別法人税を上乗せして徴収していました。しかし、消費税増税に伴う経済対策に復興特別法人税を前倒して廃止を決めました。復興財源としては企業への課税の他に、個人の所得税と住民税が増税されています。

2013年1月から所得税を納める義務のある人は、すでに復興特別所得税が基準所得税×2.1%で引かれています(基準所得税とは、従来 of 計算により算出したその年分の所得税額を言います)。

あまりマスコミ等で報道しないため知らない人が多いのではないのでしょうか。みなさん！給料明細、年金通知書等を見直してみてください。しっかりと税金が引かれていますよ！

復興所得税は2037年12月までの25年間の課税。住民税は2023年度末までの10年間で1,000円の均等割が上乗せされます。しかし大企業へは繰り上げで廃止を決め、国民には25年間負担を押しつけ、さらに来年4月からの消費税増税です。年金はこの12月からまた減らされています。

みなさん、これが今の安倍政権の「ア

ベノミクス」の実態なんです。

庶民はお先真っ暗の年越しをこれから迎えようとしていますが、是非2014年は、みなさまにとって明るい年になりますように、あきらめず、粘り強く、負けないでお体に気をつけてがんばりましょう。(A)

秘密保護法は撤廃を!!共産党 が街頭宣伝がんばっています



小澤良一市議会議員



岡本和枝市議会議員



岩井良枝市議団事務局員